

とうべつ

手にとって ^{ぐ〜っと}good 身近に

議会だより



No. 206

令和3年8月1日発行

CONTENTS

5月臨時会・6月定例会

部活動実践研究、子育て世帯支援、ワクチン・・・ p.2

総務文教常任委員会、産業厚生常任委員会

4人の議員が町の考えを質す・・・・・・・・・・・・ p.6

WITH ^{ウイズ} コロナで進めるまちづくり、風力発電計画など

議員の産休などを明文化、新委員会構成・・・・・・・・ p.10

5月臨時会・6月定例会



5月11日に総務文教常任委員会、産業厚生常任委員会を開催し、町から5月臨時会に係る議案や報告について説明があり、質疑を行いました。コロナ禍における医療機関の支援や、新駅の駅前広場工事について多くの質疑がありました。

記念式典の中止 医療機関へ支援金

総務
文教

150周年記念式典の中止

問

当別町150周年記念式典は完全に中止か。延期は考えられないか。例えば、10月くらいまでに式典を挙行するとかは。

答

当然、延期も協議したが、感染力が強い変異型が蔓延していることなど、年内のコロナ禍の収束は考えられず、町民の生命や健康を最優先に考えた結果、延期ではなく中止という判断をした。

総務
文教

医療機関に対する支援金

問

医療機関等に対する支援金について、医科・歯科は50万円、眼科は10万円となっている。なぜ差があるのか。同じ医療機関として同額補助すべきでは。

答

眼科は週1回診察を行っており、他の医療機関は毎日診察を行っている。診察日数が違うため、差を付けさせてもらっている。この支援は、前回は同じような差を付けて実施している。

着々と進む 新駅 駅前広場工事



新駅建設現場上空

総務
文教

駅前広場の地盤対策工事

問

新駅駅前広場軟弱地盤対策工事請負契約の落札率は。また、いつまでを工期としているのか。緑地帯などを含む駅前広場の造成費は総額でいくらか。

答

99.24%の落札率で、令和4年3月までの工期。事業費について、令和3年度は約3.5億円で、今回の軟弱地盤対策はこの内数。令和4年度は約2.9億円で、合計6.4億円の事業費。

総務
文教

軟弱地盤対策の他には

問

今年度の事業費の中で、軟弱地盤対策の他に何かする予定はあるのか。

答

駅前広場の整備工事に関わる事業費、用地購入費、公衆用トイレの設計、町道15線の歩道整備に関わる設計及び用地測量を予定している。

新型コロナウイルスワクチン接種

町で進めている新型コロナウイルスワクチン接種に関して、予約方法や接種券の内容、個別接種や集団接種の違い、かかりつけ医の定義、障がいのある方や高齢者の方への周知や配慮など、多岐にわたる質疑がありました。



ワクチン接種の様子（西当別コミュニティセンター）

産業
厚生

ワクチン予約と接種券

問

予約方法は现阶段でどのように考えているか。また、接種券はどのようなものが記載されて、75歳以上の方が戸惑うことがないように丁寧な内容になっているか。

答

ホームページからとコールセンターからの予約、2種類の方法を取っている。また、接種券は全国共通のもので、住所、氏名等を書いた個人を特定できるものを送付する。

産業
厚生

集団接種と個別接種

問

新型コロナウイルスワクチン接種を医療機関で受けるのか、集団接種で受けるのかについて、個人個人が選ぶことはできるのか。

答

基本的に、基礎疾患を持っている方は、かかりつけ医に相談して、その医療機関で接種を受けてもらい、かかりつけ医等がない場合は、集団接種で受けてもらいたい。

産業
厚生

かかりつけ医の定義は

問

いつも行く病院なのか、一度でも行ったことのある病院をかかりつけ医と呼ぶのか、いろいろなケースが考えられるが、かかりつけ医の定義について、どのように考えているか。

答

基礎疾患を持ち定期的な通院があれば、病院側でもかかりつけ医と認識すると考える。たまにしか行かない方は集団接種になると思う。不安であれば病院へ相談するのも一つの考え方だと思う。

産業
厚生

障がい者や高齢者への対応

問

障がい者や高齢者など、役場から書類が届いてもよく分からないために、申し込みができない方もいると思う。そういう方々への対応はどのようにしていくのか。

答

先日、介護ヘルパー等の関係者も出席する民生委員の会議で説明してもらい、そのような方がいた場合は伝えてもらったり、町が情報をもらいアクションを起こそうと考えている。



ワクチン接種会場（西当別コミュニティセンター）

【その他の主な質問項目】

新型コロナウイルスワクチン接種の従事者数（総務）、医療機関への支援金増額（総務）、新型コロナウイルス支援対策の対象期間（産業）、医療従事者のワクチン接種時期（産業）、キャンセルとなったワクチンの取り扱い（産業） など

6月14日に総務文教常任委員会、6月15日に産業厚生常任委員会を開催し、町から6月定例会に係る議案や報告について説明があり、質疑を行いました。困窮する子育て世帯へ対する「子育て世帯生活支援特別給付金」や新型コロナウイルスワクチン接種の進捗状況などについて、多くの質疑がありました。

子育て世帯へ給付金

<子育て世帯生活支援特別給付金>

●事業概要

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、低所得の子育て世帯の生活支援を行う。

●支給対象者

- ①低所得のひとり親世帯(児童扶養手当受給者等)
- ②その他低所得の子育て世帯

※子育て世帯：18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある児童(障がい児の場合は20歳未満)を養育している世帯

●給付額

児童1人あたり、一律5万円

●費用

全額国庫負担(実施に係る事務費含む)

●支給時期等

対象者①は北海道から通知。②については、令和3年4月分の児童手当又は特別児童扶養手当の受給者で、令和3年度分住民税均等割の非課税世帯は8月上旬に支給予定。(申請不要)

※上記以外の子育て世帯で、令和3年度住民税均等割の非課税世帯や直近で収入が減少した世帯についても速やかに支給する。(要申請)

総務
文教

支給事務にかかる経費

問

1,000万円を支給するための経費が446万円。疑問を感じないか。全額国費だが、何か国からの指定があるのか。対象は200人しかいないのに446万円かかる。普通感覚と言えるか。

答

事務費446万円のうち、システム改修が286万円。これが大きい。高額ではという指摘は確かにあるが、支援を要する方に対して迅速に給付するため、必要なシステム改修として計上した。

総務
文教

システムが高額な理由

問

システム改修費286万円は、他のことに利用したりできるのか。全国的に連携しているから高額なのか。なぜ286万円ものシステム改修費があるのか。

答

このシステムは各市町村独自に利用しているものであり、共通のものではないために金額が割高となってしまう、予算を押し上げる原因となっている。

直近で収入が減ってしまった場合

産業
厚生

給付金の対象は

問

直近で収入が減った世帯も対象とのことだが、直近とはいつか。今年や今月に失業した人は、昨年の収入は非課税にならないが、そういう人も、この給付金の対象となるのか。

答

例えば、今年に入って月給が極端に減少した方は給与明細を持ってきてもらい、それを基準に年間所得が非課税相当になるかが判断基準。今年失業したなどの事情も受付時に確認していく。

産業
厚生

非課税世帯のモデル

問

住民税非課税の所得の基準は市町村ごとに目安を決めているかと思うが、当別町における夫婦と子1人、夫婦と子2人の場合の所得はいくらとなっているか。

答

当別町の非課税世帯の限度額については、夫婦と子1人の場合は年間所得110万8,000円、夫婦と子2人の場合は138万8,000円である。

部活動実践研究 休業支援金

次のページは

一般質問

4人の議員が登壇し、町政に対する質問をしました。

総務
文教

対象となる部活動は

問

地域運動部活動業務委託について、当別町で試験的にモデル事業を行うとのことだが、対象となる部活動はいくつあるのか。

答

各中学校の校長と事前に協議を行い、可能性があるものとしては、野球部、バスケットボール部、陸上部(当別中学校のみ)ということで事前調整させてもらっている。



当別中学校陸上部

総務
文教

教職員と指導員の兼業も

問

働き方改革の一つということだが、教師には部活動をやりたくて教師になった方もたくさんいる。教師にどのような意見があるか町の教育委員会として把握しているか。

答

先生方はとても熱心に部活動をしているので、土日は担当しなくて良いと、すぐには言えないと両校長からも話があった。指導員と教職員の兼業もこの事業で検証してはという話も出ている。

産業
厚生

休業支援金の迅速な支給を

問

まちづくりの面から、商店街から店がなくなると、すぐには言えないと両校長からも話があった。指導員と教職員の兼業もこの事業で検証してはという話も出ている。

答

申請があった翌週には入金できるよう手配している。飲食店から苦しいという声も聞いており、今後も商工会と連携し、実態の把握に努め、スピーディな交付を心がけていく。

コロナワクチン 希望者全員に

産業
厚生

予約システムの改善を

問

接種予約が10分で埋まってしまふようでは、次の予約開始日に対応しなければならず、どんどん後回しになる。その日に対応できない人もいますので、希望者を拾える施策を考えられないか。

答

7月以降はワクチンを十分に用意できると考えている。電話も受け取る数を増やして早く繋がるよう対策して、前回のよう早い段階で予約できなくなることはないよう取り組んでいる。

産業
厚生

75歳以上のワクチン予約

問

7月7日～9日が75歳以上の高齢者の最終予約となるのか。このスケジュールを逃した場合、どのようにフォローして、希望者に接種していくのか。

答

最終ではなく、この3日間である程度の予約を取り切りたい。その後65歳以上の受け付けも始まるが、75歳以上の方が予約できていなかったら、なるべく優先して予約に結び付けたい。

【その他の主な質問項目】

休業・営業時間短縮要請に係る支援金の対象事業者数(総務)、子育て世帯生活支援特別給付金のマイナンバーとの連携(産業)、林業機械補助事業の対象(産業)、公共下水道更新工事(産業) など



一般質問

佐々木 常子 議員

質問のねらい 安心・安全の当別町に！！

障がいのためおむつが必要な方々が安心して暮らしていただけるように福祉増進を図り、支援をするべきである。厚生省では「断らない相談窓口」を目指す自治体向けに交付金を創設。支援を必要とする60%は問題

を2つ以上、34%は問題を3つ以上抱えている。多岐にわたる悩みを抱えた困窮者から、じっくりと話を聞き支援に繋げていく相談窓口は必要である。交付金を活用し一体的に対応する窓口の整備が必要である。

ここが聞きたい 障がい児におむつ支援を

問 障がい児は成長とともにおむつのサイズが大きくなり、体力、金銭の負担が増える。札幌市は上限6,500円で毎月おむつを支援。町もおむつ支援を行い、福祉増進を図るべきでは。

答 町では、障がい者及び障がい児の日常生活用具を支援しているが、現在、紙おむつは対象外。支援が必要であると思うので、対象範囲をしっかりと定めて、対象種目として追加する方向で進める。

ここが聞きたい 断らない相談窓口を

問 支援を必要とする60%は問題を2つ以上、34%は問題を3つ以上抱えている。多岐にわたる悩みを抱えた困窮者からじっくり話を聞き、支援に繋げる「断らない相談窓口」を作るべきでは。

答 現在、地域包括支援センターが総合相談窓口。そこで解決できない場合は、関係機関で会議を行うなど体制は既に構築。さらなる機能強化により、断らない相談窓口の実現に近づくと考える。

ここが聞きたい 交付金の活用を

問 厚生労働省では「断らない相談窓口」の設置を目指す自治体向けに交付金を創設した。これを活用して、一体的に対応する窓口を整備しては。

答 交付金^{※1}の活用も視野に入れて、悩みを抱える方々のニーズに応えられる体制、じっくり話を聞いたり、たらい回しにならないような体制づくりに取り組んでいきたい。

ここが聞きたい 避難要支援者の避難は

問 自治会では、要支援者を誰が支援するかまで決めていないことは少なく、対応できない、困っていると聞く。町は避難要支援者だけでなく、いざという時の自治会の体制まで把握すべきでは。

答 要支援者の避難プラン作りを支援し、多くの町内会で訓練できるように進めたい。いざという時は計画通りにならないので、多様性や柔軟性を持つために実地訓練が重要と考えている。

ここが聞きたい 相談窓口をわかりやすく

問 ゆとろの窓口について、社会福祉協議会や地域包括支援センターがどこにあるか分かりづらい。改善すべきでは。

答 分かりやすくなるよう努めているが、今が完璧とは思っていない。今後も分かりやすくなるよう努力していく。

【その他の主な質問項目】
災害時の情報周知・広報、訓練 など

※1 交付金…国などが地方自治体に対して、特定の目的をもって支給するお金。



ゆとろの窓口

一般質問

澁谷 俊和 議員



質問の
ねらい

町営住宅入居者が安心できる展望を

多くの町営住宅が耐用年数を大幅に超え、様々な問題が起きている(強風による屋根の剥がれ等)。入居待ちも5月末で19件(昨年17件、一昨年11件)あり、町営住宅に対する期待は大きい。未曾有の大雪が

毎年のように続き、高齢者や障がい者などの入居者の安全安心を脅かしている。町営住宅の除排雪については、緊急時の消防車や霊柩車すらも入れないことが予想される。入居者の不安をなくすために質した。

ここが
聞きたい

新型コロナウイルスの対応

問

高齢者を対象にワクチン接種が始まったが、副反応について、健康被害や救済対応はどのような状況か。

答

集団接種で体に異常が起きた場合、常駐してい

る医師、看護師、保健師が応急措置を行う。加えて、救急体制も整えている。幸いにも、今まで町内ではアナフィラキシーなどの大きな副反応の報告はない。今後も万全の体制で進めていく。

ここが
聞きたい

町営住宅の今後の計画は

問

5月26日現在で入居待ちが19件。町営住宅に期待している町民が結構いるという状況が表れているが、なかなか申し込んで入れない。どのような状況か。

答

建設年度の新しい住宅や低層階への入居希望が多い状況。以前も答弁したが、建て替えに大きく方針転換する時期を迎えたと判断し、現在、計画の見直しを行っている。



強風により剥がれた屋根(東町団地)

ここが
聞きたい

長寿命化計画でない計画を

問

町営住宅に長寿命化計画は、死者に延命措置をとっているようなもの。長期計画を立てて、明らかにすることが入居者の一番の安心に繋がると考えるが、今後の展望や現在の進捗状況は。

答

新しい計画を今年度中に策定する考え。計画では、住宅の廃止や集約について議論して、その方向で住環境の充実を図っていく。財政上の問題はあるが、新築への切り替えはしっかり進めたい。

ここが
聞きたい

公園のトイレをきれいに

問

あいあい公園と遊遊公園のトイレについて、手洗い場や棚に、ゴミや虫の死骸が、かなり見受けられる。3日に1回掃除していると聞いたが、そうっていない。実際はどうなっているのか。

答

今も業者が週3回清掃しており写真付き月報も出させている。汚れが酷いと連絡を受けたら、即座に清掃するようにしている。入口には注意喚起の貼り紙もして、マナー啓発にも努めている。

ここが
聞きたい

専聖寺前の道路の水たまり

問

水はけが悪く、ずっと水たまりの状態。通学する子どもたちも苦労している。現状どのように考えているか。地域から要望は来っていないのか。

答

平成30年に舗装を改修し、水たまりを解消。その後、地域から要望は来っていないが、パトロールを行い、こういう状況があれば直していく。

【その他の主な質問項目】

宮司町長2期8年の公約達成状況 など



一般質問

鈴木 岩夫 議員

質問の
ねらい

巨大風力発電計画は、撤回求めよ

民間企業による巨大風力発電計画が町民の知らない間に進められようとしている。知ること、分かること、町民にとって必要かどうか問題点をはっきりさせ、しっかり考える材料にすべく質した。ワクチン接種加速

に向けた課題解決についても質した。町内でもクラスター発生や役場閉鎖という事態も招いた。それらを防ぐ方策を提案し、実施について質した。そして、医療・介護施設へのさらなる支援実施について質した。

ここが
聞きたい

介護職員への接種優先を

問 入所型介護事業所の職員は高齢者と同じ接種順位だが、デイサービスやホームヘルプサービスなど通所型介護事業所の職員は、一般の方と同じ。通所型介護事業所職員の接種も優先すべきでは。

答 国の基準で言うと、そのような介護職員は優先接種の対象になっていない。しかし、高リスクであり優先すべきと考えているので、今後は、こういう方の接種について柔軟に対応していきたい。

ここが
聞きたい

PCR 検査の頻回実施を

問 介護施設でのクラスターや役場庁舎閉庁などの経験を教訓に、陽性者が出てからのPCR検査だけでなく、リスクの大きい施設で、積極的なPCR検査の頻回実施を行うべきでは。

答 企業や施設全てに頻回実施が理想だが、費用面で簡単ではない。高齢者施設には有効と考えるので、介護事業者等への感染予防対策支援金を検査に活用するよう、事業者へ促していきたい。

ここが
聞きたい

医療・介護施設への支援を

問 日常診療に加え、ワクチン接種や発熱外来など大変過酷な労働や受診控えやコロナ対応で厳しい経営も続いている。逼迫する医療・介護施設への経営支援を引き続き行うべきでは。

答 医療機関、高齢者施設等には、日々高い緊張感の中で尽力いただいている。当別町の場合、皆さんが非常に協力的で、犠牲を払ってまで対応いただいているため、継続支援すべきと考えている。



医療・介護施設への継続支援を

ここが
聞きたい

土地取引上の懸念は

問 かつて原野商法と呼ばれる土地取引があったが、西当別風力発電事業を進める上で懸念することはあるのか。

答 海外資本による水資源保全地域の土地売買は国内でも多数。町としても危惧すべき案件。また、経済安全保障上の懸念もあり、海外資本による土地売買の動きは注視する必要がある。

ここが
聞きたい

町民生活への影響は必至

問 風力発電計画は、健康、防災、景観など町民生活への懸念が大きい。住民の声をしっかり受け止めて対応すべき。また、今回の事業については、白紙撤回するよう国や事業者へ意見すべきでは。

答 健康、防災、景観の問題が、町民生活へ影響しないかしっかりアセスメント^{※2}し、住民の声を重く受け止めて、国や道とすり合わせして、緊張感を持って対応していく案件と考えている。

※1 原野商法…原野などの価値のない土地を売りつける商法。

※2 アセスメント…ある物事が、周囲の人やもの、環境などに及ぼす影響について、事前に調査し、評価すること。

一般質問

山崎 公司 議員



次のページは

議案の審議結果

本会議では、多くの報告や議決が行われました。

質問のねらい

ふるさと納税・子育て世代を増やせ

新年度に新組織（総務部内に危機対策課、企画部内にセールス戦略課）を設立した。町民にも分かりやすく、目的・ねらい・具体的な業務内容を質した。令和2年度のふるさと納税（寄附金申込件数・金額）、道の駅

（じゃらん道の駅ランキング2021で昨年10位、今回は8位にランク）の現状、また、特にふるさと納税の今後の記念品確保と、定住人口増加のため子育て世代の移住推進へのさらなる活用について質した。

ここが聞きたい

新年度の新組織

問 今年度、危機対策課とセールス戦略課が新設された。コロナ関係で既に始動していて期待している。新設目的や業務内容、他部署との連携など、町民に改めて説明していただきたい。

答 危機対策課は、自然災害など、町内の危機対策を一手に担うべく設置した。セールス戦略課は、ふるさと納税、道の駅、移住促進等で、町の魅力発信や特産品のセールス等を担当している。

ここが聞きたい

ふるさと納税の現状

問 令和2年度のふるさと納税の申し込み件数と金額、申し込みの多い地域、人気カテゴリー、記念品178品のうち、寄附された金額が100万円以下の品数はどのようになっているか。

答 約15万5,000件の申し込みがあり、寄附額は約19億5,000万円。関東、関西、中部からの申し込みが約80%を占め、お菓子類が1番人気。寄附額が100万円以下の品は約半数ある状況。

ここが聞きたい

子育て世代の転入増

問 定住人口増のため、子育て世帯の転入増を目指す上で、家を購入する子育て世帯へ50万円以上を支援するなど、ふるさと納税の有効活用が必要では。

答 子育て世帯の定住促進策は、人口増加の上で最も重要な手段。住宅購入支援を実施すべき時期も近いと感じており、支援へのふるさと納税の活用は、町の総合戦略に合致すると認識している。

ここが聞きたい

定住人口の増加策

問 道の駅、JRロイズタウン駅、ロイズ工場拡張を通じて、交流人口が100万人から150万人へ増加することが予想されるが、定住人口を増加させる方策は検討しているのか。

答 ロイズ工場、道の駅、ロイズタウン駅、太美駅の4拠点を結ぶ人の流れを作り出すことで、町の認知度が高まり、新施設での雇用も期待され、結果として、定住人口増加に繋がると考えている。



北欧の風 道の駅とうべつ

ここが聞きたい

道の駅第8位にランク

問 「じゃらん」道の駅ランキングで当別は今年第8位。素晴らしい結果。この結果をどう分析し、今後に生かしていくか。

答 来場者の意見・要望を踏まえて、商品構成をしっかりと検討し、常に来場者が満足する道の駅を目指してほしい。

【その他の主な質問項目】

企画部 ICT推進課の推進事業、道の駅とうべつの令和2年度の入場者数・販売高 など

第1回臨時会 (5/13)		結果	掲載ページ
◎：全員賛成 ○：賛成多数 ×：反対多数			
傍聴2名 議会中継視聴回数 50回 (7/20 現在)			
【専決処分】 ※専決処分の承認を求めるもの			
和解及び損害賠償額の決定について 公用車の物損事故について、損害賠償額を定め和解した専決処分の承認を求めるもの	◎	—	
令和2年度一般会計補正予算(第11号) 法人事業税交付金等の確定により、増額補正し専決処分したので、報告し承認を求めるもの	◎	—	
当別町税条例等の一部改正 地方税法等の一部改正に伴い、本条例の一部を改正した	◎	—	
当別町都市計画税条例の一部改正 地方税法等の一部改正に伴い、本条例の一部を改正した	◎	—	
【補正予算】			
令和3年度一般会計補正予算(第2号) 2,418万円を増額し、総額を152億210万円とするもの	◎		p.2 ~ p.3
令和3年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号) 40万円を増額し、総額を21億7,134万円とするもの	◎	—	
令和3年度介護サービス事業特別会計補正予算(第1号) 1,298万円を増額し、総額を7,727万円とするもの	◎	—	
【その他】			
JR札沼線新駅駅前広場軟弱地盤対策工事請負契約について 議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の規定により、議会の議決を得ようとするもの	◎	—	
財産の取得について 議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の規定により、議会の議決を得ようとするもの	◎	—	

第2回定例会 (6/11 ~ 6/17)		結果	掲載ページ
◎：全員賛成 ○：賛成多数 ×：反対多数			
傍聴は制限 議会中継視聴回数 295回 (7/20 現在)			
【行政報告】 ※行政報告のため、質疑や採決は行われません。			
町税の賦課誤りについて	—	—	
当別町における新型コロナウイルスへの対応状況等について	—	—	
情報公開制度の実施状況について	—	—	
【専決処分】 ※専決処分の承認を求めるもの			
令和3年度一般会計補正予算(第3号) 緊急事態宣言に伴う感染防止対策協力支援のため7,704万円を増額した	◎		p.5
【委員会報告】			
当別町公共施設に関するあり方検討特別委員会報告	◎		p.11
【議員提案】			
当別町議会会議規則の一部改正	◎		p.10
林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書	◎	—	
【報告】			
令和2年度当別町一般会計繰越明許費繰越計算書について 議決を経た繰越明許費に係る繰越額及び財源内訳について、地方自治法施行令の規定により報告するもの	◎	—	
【人事案件】			
固定資産評価員の選任について 地方税法に規定する固定資産評価員に、総務部税務課長の職にある者を選任するため、議会の同意を得ようとするもの	◎	—	
農業委員会委員の任命について 且見英和氏の退職に伴い、新たに滝本弘氏を任命するため、農業委員会等に関する法律の規定により、議会の同意を得ようとするもの	◎	—	
【補正予算】			
令和3年度一般会計補正予算(第4号) 8,680万円を増額し、総額を153億6,594万円とするもの	◎		p.4 ~ p.5
令和3年度下水道事業特別会計補正予算(第1号) 1億810万円を増額し、総額を10億3,923万円とするもの	◎	—	

※1 DX…デジタル技術の活用や浸透により、人々の仕事や生活をあらゆる面でより良いものへと変革すること。

トピックス

議員の産休などを明文化



第2回定例会において当別町議会会議規則の一部改正を行いました。議員活動と家庭生活の両立や、男女の議員が活動しやすい環境整備の一環として、議会の欠席事由に、出産、育児、看護、介護、配偶者の出産補助などの理由を明記しました。特に出産については、産前産後8週間と、いわゆる産休の期間も明記しました。

議員研修

地方自治体のDX推進

6/24 石狩町村議会議員研修会



講師の乗木部長（議場）

6月24日に議員研修会（石狩町村議会議長会主催）を行いました。講師に当別町事業推進部の乗木 裕 部長をお迎えし、「自治体のDX^{※1}推進」をテーマにご講演をいただきました。総務省が進める自治体DX推進計画、用語の解説、マイナンバー制度などについて、システムエンジニアの経歴を持つ乗木部長の経験を交えながら、解説していただきました。なお、感染拡大防止の観点から、新篠津村議会議員の皆様はオンラインで参加されました。

議員在職 10 年表彰
議員表彰

6/24 伝達式 (議場)

古谷議員と山田議員は、長きにわたる地方自治の発展に寄与された功績が認められ、石狩町村議会議長会より表彰されました。



後藤議長 (左) から伝達を受ける古谷議員 (右)



後藤議長 (左) から伝達を受ける山田議員 (右)

トピックス

**公共施設に関するあり方
検討特別委員会終了へ**

公共施設のあり方検討、関係計画の審査、将来のまちづくりを見据えた重要課題審査など、一定の役割を終えたため、本委員会は6月11日をもって終了することとしました。

第2回定例会 (6/11 ~ 6/17)		結果	掲載ページ
◎ : 全員賛成 ○ : 賛成多数 × : 反対多数			
【条例】			
当別町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部改正 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準の一部改正に伴う条例の一部改正	◎		—
当別町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴う条例の一部改正	◎		—
【その他】			
石狩地区広域穀類乾燥調製貯蔵施設に係る指定管理者の指定について 石狩地区広域穀類乾燥調製貯蔵施設の指定管理者を指定するため、地方自治法の規定により議会の議決を得ようとするもの	◎		—
当別町一体型義務教育学校建設工事 (外構工事) 請負契約について 議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の規定により、議会の議決を得ようとするもの	◎		—
【請願・陳情】			
《令和3年第2回定例会 (6月) 総務文教常任委員会へ付託》 北海道への「核のごみ」持ち込みに反対する意見書の採択を求める請願書 [提出者] 新日本婦人の会当別支部 支部長 佐藤 美智子 他4団体 [紹介議員] 当別町議会 議員 澁谷 俊和、議員 鈴木 岩夫		継続	—
《令和3年第2回定例会 (6月) 産業厚生常任委員会へ付託》 当別町西当別風力発電事業の白紙撤回を求める意見書の採択を求める請願書 [提出者] 新日本婦人の会当別支部 支部長 佐藤 美智子 他4団体 [紹介議員] 当別町議会 議員 鈴木 岩夫		継続	—
《令和3年第2回定例会 (6月) 産業厚生常任委員会へ付託》 高齢者医療費2倍化導入の撤回を求める意見書の採択を求める請願書 [提出者] 公益社団法人北海道勤労者医療協会 当別社員支部 支部長 今野 一三六 他4団体 [紹介議員] 当別町議会 議員 鈴木 岩夫		継続	—
《令和3年第2回定例会 (6月) 総務文教常任委員会へ付託》 「2022年度地方財政の充実・強化を求める意見書」の採択を求める陳情について [提出者] 自治労北海道札幌本部 執行委員長 藤森 雅人 他1団体		採択	—
令和3年第2回定例会 (6月) 産業厚生常任委員会へ付託 「地域を活性化し、若者が地元でくらせる！全国一律最低賃金制度の創設を求める意見書」の採択を求める陳情書 [提出者] 札幌地区労働組合総連合 議長 赤坂 正信		継続	—

新しい委員会構成

2年の任期が終わり、令和3年第2回定例会において、各委員会の構成替えが行われました。

総務文教常任委員会

< 所管事項 > 町長公室、総務部、企画部、事業推進部、出納室、監査委員、選挙管理委員会、教育委員会



写真左から、古谷陽一委員、稲村勝俊委員、高谷茂委員、山崎公司委員長、西村良伸副委員長、五十嵐信子委員、鈴木岩夫委員

産業厚生常任委員会

< 所管事項 > 住民環境部、福祉部、経済部、建設水道部、農業委員会



写真左から、岡野喜代治委員、島田裕司委員、秋場信一委員長、澁谷俊和副委員長、櫻井紀栄委員、佐々木常子委員、山田明委員

議会運営委員会



写真左から、西村良伸委員、五十嵐信子委員、山崎公司委員、山田明委員長、島田裕司副委員長、澁谷俊和委員、古谷陽一委員

議会広報特別委員会



写真左から、佐々木常子委員、五十嵐信子委員長、鈴木岩夫副委員長、櫻井紀栄委員

議会のうごき（令和3年5月～令和3年7月）

- | | | | |
|-------|---|-------|-------------------------------|
| 5月11日 | 総務文教常任委員会 会派代表者会議
議会運営委員会 産業厚生常任委員会 | 14日 | 総務文教常任委員会 |
| 13日 | 議会運営委員会 議員協議会 第1回臨時会 | 6月15日 | 産業厚生常任委員会 |
| 21日 | 議会運営委員会 | 16日 | 第2回定例会 総務文教常任委員会 |
| 28日 | 会派代表者会議 議会運営委員会 | 17日 | 議会運営委員会 議員協議会
第2回定例会 議員協議会 |
| 6月4日 | 公共施設に関するあり方検討特別委員会
議会運営委員会 会派代表者会議 | 24日 | 石狩町村議会議長会議員研修会 |
| 11日 | 公共施設に関するあり方検討特別委員会
会派代表者会議 議会運営委員会
議員協議会 第2回定例会 | 7月1日 | 議会広報特別委員会 |
| | | 9日 | 議会広報特別委員会 |
| | | 13日 | 議会広報特別委員会 |

議場での傍聴について

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、議場の傍聴を制限しています。ご協力をお願いします。また、インターネット中継も行っているため、インターネット環境のある方は、可能な限りそちらをご利用ください。



傍聴席を制限

令和3年9月定例会のご案内

- 予定 9月14日(火)～9月28日(火)
内容 令和2年度決算審査、
補正予算、一般質問など
傍聴 本会議や委員会も傍聴できます。

議会インターネット中継

本会議と常任委員会のライブ中継や録画配信をインターネットにより配信しています。詳しくは、ホームページをご覧ください。



※日程が決まり次第ホームページへ掲載します。

ご意見ご感想をお寄せください

議会だよりの編集について、ご意見・ご感想がありましたら、下記連絡先へご連絡ください。今後の参考とさせていただきます。

議会事務局

〒061-0292 石狩郡当別町白樺町58番地9
TEL 0133-23-3247 FAX 0133-23-4474
E-mail gikai@town.tobetsu.hokkaido.jp

議会広報特別委員会

委員長 五十嵐 信子
副委員長 鈴木 岩夫
委員 佐々木 常子
委員 櫻井 紀栄

編集後記

2年に1度の委員会構成替えで、6月より新たなメンバーでの活動が始まりました。6月定例会は、緊急事態宣言下での議会となり、議場の換気や消毒をはじめ、一般質問の時間を30分から20分へ短縮するなど、さらに感染対策を徹底しての開催となりました。そのような状況ではありましたが、町民の皆様が、議会だよりを手にとって読んでいただけるよう努めて参りました。今後もさらに町民の皆様が親しまれ、議会が身近に感じられる紙面作りを目指していきたいと思っております。

議会広報特別委員会 委員長 五十嵐 信子

次回「とうべつ議会だより第207号」は本年12月に発行します。